

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、FOMC議事録(3月17-18日開催分)を受けてドル売り優勢の展開となり、引けにかけてドル安レアル高が進行。3.04台後半で取引を終えた。議事録では、利上げ開始時期を巡って参加者の中で意見が割れていることが示された。①数人の参加者は、経済データや見通しが、6月会合での正常化開始を正当化する可能性が高いと判断、②その他の参加者は、エネルギー価格の下落やドル上昇が引き続きインフレを抑制しており、利上げは年後半に行うべきと判断、③2人は金融引き締めが適切となる経済情勢は2016年まで訪れない公算が高いと判断。今回の内容が米3月雇用統計公表前の情報をベースとしたものである点を考慮する必要があるが、依然として数人が「6月利上げ」を正当化していること、労働市場の改善が続けばインフレ率が上昇する前に利上げを開始することも可能と判断していること、の2点を踏まえると、全体の中身は当初想定よりも若干タカ派であるとも言える。しかし、レアル相場はレアル買いの反応を示したことから、現在は急速に進行したドル買いポジションが一時的に巻き戻されている時間帯にあると考えるのが妥当であろう。

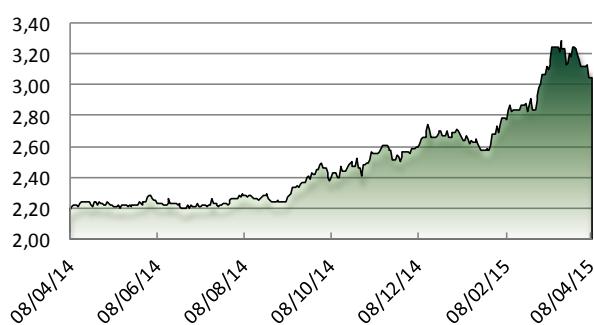
公表された3月IPCAは市場予想の8.20%を僅かながら下回り、前年比8.13%となった。インフレ率の上昇が一旦抑制されたことから、マーケットでは中銀が次回COPOMでの利上げ幅を縮小させるとの見方が広がっているものの、依然として高水準にあることに変わりはなく、引き続き注視する必要がある。

マーケットデータ

Indicator	Unit	4月7日	4月8日	前日比	3月6日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	38,41	39,37	+0,96	39,45	-0,08
USD / BRL Spot	BRL	3,1298	3,0494	-0,0804	3,0640	-0,0146
USD / JPY Spot	JPY	120,28	120,13	-0,15	120,83	-0,70
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	53.729	53.661	-68	49.981	+3.680
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	256,4	239,2	-17,2	253,3	-14,1
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,76	12,53	-0,23	12,97	-0,44
DI Future Jul16 (金利先物)	%	13,26	13,15	-0,11	13,57	-0,42
3 Months US Dollar Libor	%	0,274	0,274	+0,000	0,265	+0,009
CRB Index (国際商品指数)	Index	221,8	216,4	-5,4	220,1	-3,7

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

